

すべての学力の土台となる  
「基礎学力」を

TOFASで  
チェックしませんか？

授業理解はもちろん定期テストや入試で高得点を取るためには、すべての学力の土台となる「基礎学力」をしっかり身につけておく必要があります。TOFASなら、オンラインにより手軽にお子さまの「基礎学力」を正確に診断することができます。

国際学力検定 TOFAS とは

TOFASは、日本、アメリカを含む複数国で実施している「スプリックス基礎学力研究所」の調査研究と教育ノウハウから生まれた「基礎学力」を評価するオンライン検定です。

## TOFAS の3つの強み

1

基礎に特化した  
学力の「評価」ができる。

どれだけ学習環境が変わろうとも必要不可欠な学力、それが「基礎学力」です。事実、日本の保護者の96%は、「基礎学力」が子供に必要な力だと考えています。TOFASは、これからのお子さまの可能性を拓くために必要な基礎に特化したかたちで、学力を正しく「評価」します。



2

一人ひとりの基礎学力定着に  
必要な「伸びしろ」がわかる。

TOFASは、正答率や合否結果だけでなく、一人ひとりの受検データを細かく分析することで、学力向上に必要な「伸びしろ」を把握することができます。また、分析結果を可視化することで、ニガテの克服や基礎学力の確実な定着につなげることができます。



3

世界規模で  
基礎学力の「比較」ができる。

子どもたちの教育においてもグローバル化、ボーダレス化が進む中、世界11ヶ国の保護者の75%は、「グローバルに学力を測定できる仕組みがあれば利用したい」と回答しています。複数の国で実施するTOFASは、世界規模での基礎学力の「比較」が可能です。



世界各国で、多くのお子さまがTOFASを活用。

## 「基礎学力」を正しく評価することは 成績アップに確実につながります。

学校のテストにおける「計算ミス」「漢字の書き間違い」「英単語のスペルミス」などの失点を防ぐために、伸びしろを把握することが必要です。

分析結果から、子どもの学力を  
正確に把握することができました。



保護者の声

小学校卒業タイミングで、今まで学習したことや基礎学力がどれくらい定着しているかを知るために受検させました。TOFASがよかったことは、まずはパソコンで手軽に受検できること。そして、**受検結果がわかりやすくグラフ化されていて、また具体的な解説もあるので、子どもの学力を把握するのにとても役立ちました。**これからも学年が上がる節目で受検させようと思っています。



お子さまの声

ニガテをなくすための復習  
としても使うことができた。

パソコンでのテストは初めてだったので不安だったけど、やってみると困ることもなく、スムーズに受検することができました。結果は、合格、不合格だけでなく、「できていないところ」について細かくアドバイスが書いてあるので、**ニガテをなくすための復習にも使うことができました。**受検前は自信がなかったですが、合格証をもらうことができてとてもうれしかったです。

補強すべき弱点や伸びしろを  
見つけることができました。



保護者の声

子どもの学力を客観的に把握できることはもちろん、**世界基準で基礎学力を比較できることがとてもユニーク**だと思い受検させました。受検からわずか1週間後に届いた結果表には、**学校ではわからない定量的・定性的な分析結果や、今後の学習に活用できるアドバイスが記載されているので、とても役立ちました。**子どもにとっては、パソコンでのテストが楽しかったようです。



お子さまの声

合格証がもらえて、  
とてもうれしかった！

紙ではなく、パソコンでのテストがおもしろそうだったので、やってみようと思いました。実際やってみると、**紙と同じように解答することができたので、焦ることもなく時間内にすべて解き終わることができました。**受検結果は、思った以上に点数がよく、順位も高く自分でも驚いています。**最後に合格証がもらえるので、次も頑張りたいと思いました。**

### 検定概要

対象科目 計算、英単語、漢字・語い

検定時間 40分

合格ライン 正答率80%以上

出題形式 回答選択方式  
(一部、回答入力方式・回答記述方式)

必要な物 PCまたはタブレット、受検者のアカウント情報、  
計算用紙、筆記用具

※漢字・語いは、回答記述方式を含むため、  
タブレットおよびタブレットに記述可能なペンが必要です。

受検結果 受検日の10日後以降にメールを配信。  
Web上で結果の閲覧が可能。  
合格者には合格証(サーティフィケート)を  
データにて発行いたします。



TOFAS

検索

<https://tof.as.education>

受検日 第 \_\_\_\_\_ 回検定 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

申込期間 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日まで 検定料 \_\_\_\_\_ 円